

春になっても

一瀉 千里

亀は いつのまにか
いなくなった
いついなくなったのか
なぜいなくなったのか

人でも 物でも
予告もなく
突然いなくなるのは 寂しい

いてつく冬には
いつも池をみつめていた
姿は見えなくても
ーここにいるんだよね
池の中の 泥の中
亀は
冬眠していたはずだ

桜の花が満開になり
花びらが 池の表面を桜色に彩るころになっても
亀は あらわれない
冬眠したまま
そのまま死んでしまう亀もいる
そんな覚書が
ふと 脳裏をかすめた

ーーそういえば甲羅の大きさが

ずいぶん大きかったよね

自分の役目は もう終わったと

人知れず 姿を消したのかな

海まで出向いて きつと

竜宮城へ 帰ったんだな